

情 報 公 開 文 書

研究の名称	未治療本態性高血圧患者における高血圧性臓器障害の指標としての安静臥位血圧の有用性に関する研究
研究代表機関	富山大学附属病院
研究責任者 （所属・職名および氏名）	医療の質推進部・特命准教授 小池 勤
①試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	この研究は富山大学臨床・疫学研究等に関する倫理審査委員会の承認および研究機関の長の許可を受けて実施しています。 【研究の目的・方法】 家庭など診察室以外で測定する血圧は診察室で測定する血圧よりも心血管系疾患の発症を予測することに優れています。そのため、高血圧管理・治療ガイドライン 2025 では家庭血圧測定の測定を推奨し、診察室血圧と家庭血圧で乖離がみられる場合は家庭血圧での診断を優先しています。動脈硬化の指標として測定する心臓足首血管指数（CAVI）は、安静臥位の状態で実施する検査ですが、安静臥位血圧は診察室血圧よりも高血圧によって生じる臓器障害や心血管系疾患の有用な指標であることが想定されますが、詳細は不明です。本研究の目的は、CAVI 測定時の安静臥位血圧が本態性高血圧患者における心血管系障害の指標として診察室血圧よりも有用であるか検討することです。 【研究期間】 実施許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日 【研究対象者】 2004 年 1 月～2015 年 12 月の期間に、当院第二内科の高血圧外来を受診され未治療の高血圧患者（年齢 20 歳以上、推定糸球体濾過量 60 mL/min/1.73m² 以上、尿中アルブミン排泄量 300 mg/day 未満）を研究対象者とします。 【研究資金、利益相反の状況】 本研究の実施には、第二内科講座の医局・講座費を使用します。本研究に関係する企業等は存在しないため、本研究において申告すべき利益相反はありません。 【個人情報の取扱い】 研究に用いる試料はありません。 情報を取得した後は、氏名、診療録 ID 等の個人の識別が可能な記述は用いず、個人とは無関係な研究用識別番号を付すことで他の情報と照合しなければ個人を識別できないように加工します。 【研究結果の公表の方法】 医学雑誌での発表を行います。 【試料・情報の他機関への提供有無】

	無
②利用又は提供する試料・情報の項目	本研究では、試料・情報の他機関への提供はありません。 研究に用いる試料はありません。 【情報の項目】年齢、性別、身長、体重、既往歴、処方内容、高血圧罹病期間、診察室の血圧・脈拍数、24 時間血圧モニタリングの血圧・脈拍数、一日蓄尿の尿量、血液・尿生化学検査所見、心エコー所見、頸動脈エコー所見、CAVI 値、CAVI 測定時の血圧、など
③利用又は提供を開始する予定日	【利用を開始する予定日】 2026 年 6 月 1 日
④試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	本研究では、試料・情報の他機関への提供はありません。
⑤提供する試料・情報の取得の方法	本研究では、試料・情報の他機関への提供はありません。
⑥利用する者の範囲	富山大学附属病院 医療の質推進部・小池 勤 富山大学附属病院 医療の質推進部・掛下幸太
⑦試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	富山大学附属病院 医療の質推進部・小池 勤
⑧研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨	研究対象者に関する情報を当該研究に用いることに対して、拒否をご希望される場合や研究資料（研究計画書及び研究の方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲で入手・閲覧を希望される場合は、以下の窓口へご連絡ください。 電話番号：076-434-7297 FAX：076-434-5026 E-mail：tkoike@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名：医療の質推進部・小池 勤